

「県南地域感染症情報」に関する御意見、御質問等はFAXまたはメールでお願いします。
 メール返信の方は、右下の「感染症情報連携シート」をクリックして記載願います。
 県南保健所生活衛生部医療薬事課
 FAX0248-23-1252 メールアドレス kansen_kennan@pref.fukushima.lg.jp

感染症情報連携シート

県南保健所管内で麻しんの患者が発生しました

麻しん（はしか）の発生について

県南保健所管内において、平成26年以来となる麻しん患者の報告がありました。
 第26週に3名、第27週には新たに6名の届出があり、第27週時点で合計9名の患者が報告されています。
 今回の麻しんの発生に関しては、東南アジアから入国した患者を契機に、その患者と接触のあった方々に感染が拡がりました。
 麻しんは非常に感染力が強く、空気感染、飛沫感染、接触感染など様々な感染経路でヒトからヒトへ感染が伝播しますので、今後も引き続き注意が必要です。

麻しん（はしか）とは

- 麻しん（はしか）は、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の感染症です。
- 感染後、10～12日の潜伏期間を経て、発熱、咳、鼻水といった風邪のような症状が出現します。それらが3～5日継続した後、耳の後部や首のあたりから発疹が出始めます。発疹が出ると、4～5日で解熱するとされています。
- 肺炎や中耳炎、脳炎などの合併症を引き起こす可能性があり、時には命に関わる重篤な症状を引き起こす感染症です。
- 感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染等で、その感染力は非常に強いと言われています。
- 発病1～2日前から発疹出現後4～5日後くらいまでは、ウイルス排出の可能性があり、周囲に感染させるおそれがあります。その期間ではできる限り他者との接触を避けてください。

予防接種について

麻しんは感染力が強く、空気感染もするので、手洗い・マスクのみでは予防できません。また、麻しんには特效薬などありません。麻しんに感染しないためには、予防接種が重要です。

<定期予防接種の時期>

第1期：1歳以上2歳未満

第2期：小学校就学前の1年間(年度内に6歳になる者)



1回のワクチン接種により、95%以上の方が免疫を獲得することができますと言われています。しかし、年数の経過とともに免疫が低下することがあるため、免疫を増強させるために、2回目の予防接種を受けることが重要です。定期接種対象者以外の方でも任意で予防接種（費用は自己負担）で受けることが可能です。特に、以下に該当する方は注意してください。

- *母子手帳などで麻しんワクチンを2回以上受けた記録がない
- *過去に麻しんに罹ったことが確実でない（検査で確認されたことがない）

麻しんかな?と思ったら...

- 麻しんのような症状がある場合、麻しんの疑いがあることを医療機関に電話で伝え、受診の要否や注意点を確認してから、指示に従ってすみやかに受診してください。
- 麻しんの感染力は非常に強いと言われています。医療機関へ移動される際は、周囲の方への感染を防ぐためにもマスクを着用し、公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

厚生労働省ホームページ 麻しんについて

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/

福島県 麻しんの発生について

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21045a/kansenkangokansen101.html>